

Ⅲ 果 樹

1. りんご

(1) 紅将軍 2009年

登録番号：(北海道)りんご移第14号
(種苗法)第3589号

セールスポイント

着色良好で果実のほぼ全面が濃赤色に着色し、さびの発生が少なく外観が優れる。蜜入りが良好で甘味と酸味のバランス良く食味が優れる。

来歴 本品種は山形県で民間育成された品種である。「ふじ」の枝変わりである「やたか」の枝変わり品種である。山形県の株式会社天香園により品種登録出願され、1993年7月27日に品種登録された。北海道では、2009年に優良品種となった。

特性の概要

1. 樹姿は開張する。樹勢は中で、樹体の大きさは「つがる」より大きく「ハックナイン」より小さい。葉色は緑である。花芽の着生は比較的良好である。
2. 発芽から開花に至るまでの生育相は、ほぼ「つがる」、「ハックナイン」と同時期に経過する。収穫期は10月中旬で「つがる」より17~20日遅い。
3. 1樹あたり収量は「つがる」より多く「ハックナイ

ン」より少ない。

4. 果実は扁円錐形で、果実の大きさは「つがる」並で「ハックナイン」より小さい。着色は濃赤で、ほぼ全面に着色し、縞が入らない。果肉がしまっている。食味は甘さと酸味の調和がとれており、品質は良好である。蜜が良く入る。心かびはわずかに見られる。
5. 貯蔵期間としては室温で1週間、冷蔵で1~2か月程度と考えられる。
6. 「つがる」との交配親和性には問題ないが、「ふじ」および「ハックナイン」とは交雑不和合性である。一般防除下で特に問題となる病害虫は認められない。

栽培適地と奨励態度

本道のりんご栽培地域に適する。「つがる」から「ハックナイン」の間に収穫期を迎える中生の品種として品質および栽培特性に優れ、「ふじ」と異なり果実の全面に着色する特徴があり、市場出荷はもとより観光果樹園や直売所など多様な場面において、販売面の品揃えを増やすことができる。従って本品種は中生の基幹品種として有望である。強樹勢、着果不足および排水不良条件下では裂果の発生を助長することがあるので、適正樹勢の維持、適正着果および土壌排水性の改善に努める。

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算 収量 (kg)	果実品質						試験年次
					果実重 (g)	着色 (0~10)	硬度 (lb)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	蜜入り (0~3)	
中 央 試 農	紅 将 軍	5.28	10.18	123.1	327	9.4	13.4	14.3	0.45	2.1	2000~2008
	つ が る	5.29	10.01	73.5	300	9.2	12.9	14.3	0.35	0.1	
	ハックナイン	5.28	11.01	127.9	381	7.4	12.8	13.3	0.54	0.8	

- 注 1) 満開期、収穫期は2004~2008年の平均
2) 積算収量は1樹あたり収量で、樹齢4~10年生の積算値
3) 果実品質は2005~2008年の平均値

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-11 (2009)

(2) 昂林 2009年

登録番号：(北海道)りんご移第13号

セールスポイント

着色良好で縞が入り、さびの発生が少なく外観が優れる。蜜が入り、甘味と酸味のバランス良く食味が優れる。

来歴 本品種は、「昂林」は福島県の民間で育成された

品種で、遺伝子判断の結果、「ふじ」の枝変わりまたは「ふじ」のアポミクシスの可能性が高いと報告されている。北海道では、2009年に優良品種となった。

特性の概要

1. 樹姿は開張する。樹勢は中で、樹体の大きさは「つがる」より大きく「ハックナイン」より小さい。葉色は緑である。花芽の着生は比較的良好である。

2. 発芽から開花に至るまでの生育相は、ほぼ「つがる」、「ハックナイン」と同時期に経過する。収穫期は10月中旬で「つがる」より17～20日遅い。
3. 1樹あたり収量は「つがる」より多く「ハックナイン」より少ない。
4. 果実は扁円形で、果実の大きさは「つがる」並で「ハックナイン」より小さい。着色は濃赤で、不明瞭だが縞が入る。果肉がしまっている。食味は甘さと酸味の調和がとれており、品質は良好である。蜜は入ることが地域差が見られる。心かびはわずかに見られる。
5. 貯蔵期間としては室温で1週間、冷蔵で1～2か月程度と考えられる。

6. 「つがる」との交配親和性には問題ないが、「ふじ」および「ハックナイン」とは交雑不和合性である。一般防除下で特に問題となる病害虫は認められない。

栽培適地と奨励態度

本道のりんご栽培地域に適する。「つがる」から「ハックナイン」の間に収穫期を迎える中生の品種として品質および栽培特性に優れ、道産りんごの柱として市場出荷や観光果樹園など幅広い場面での利用が期待出来る。強樹勢、着果不足および排水不良条件下では裂果の発生を助長することがあるので、適正樹勢の維持、適正着果および土壌排水性の改善に努める。

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算 収量 (kg)	果実品質						試験年次
					果実重 (g)	着色 (0～10)	硬度 (lb)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	蜜入り (0～3)	
中 央 農 試	昂 林	5.28	10.18	76.5	308	9.0	13.2	13.9	0.47	0.8	2000～2008
	つ がる	5.28	10.01	48.9	300	9.0	12.9	14.4	0.33	0.1	
	ハックナイン	5.28	11.01	96.5	401	7.5	13.1	13.6	0.57	0.7	

- 注 1) 満開期、収穫期は2004～2008年の平均
 2) 積算収量は1樹あたり収量で、樹齢4～10年生の積算値
 3) 果実品質は2005～2008年の平均値

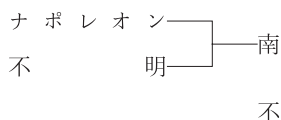
参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-41 (2009)

2. おうとう

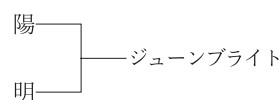
- (1) ジューンブライト (系統名 おうとうHC1号) 2005年
 登録番号: (北海道) おうとう北海道第1号
 (種苗法) 第14917号

セールスポイント

収穫期が早く果実は大玉である。耐寒性は強く道内のほとんどの栽培品種と交配親和性を有する。



来歴 本品種は1987年に北海道立道南農業試験場において、「南陽」を種子親とした種子を採取し、獲得した実生から選抜した。1995年に大玉で食味が良好であることを認めたことから系統名「HC1」を付した。1997年から北海道立中央農業試験場、1998年から現地において試験を開始し果実品質等の検討を行った結果、早生品種としては果実が大きく品質良好なことから2005年に北海道の優良品種として認定され、2007年3月2日に種苗登録された。



特性の概要

1. 樹勢は強く、樹は大きくなる。樹姿は「北光」と同様に直立する。花束状短果枝の着生程度は「佐藤錦」、「北光」より少なく、「南陽」より多い。
2. 発芽期と開花期はともに「北光」と同時期である。収穫盛期は6月下旬で「佐藤錦」よりやや早い。
3. 結果量は多く、生理落果は少ない。収量は「佐藤錦」、

「北光」並である。耐寒性は「佐藤錦」、「南陽」より強く「北光」並みに強い。

4. 果形は「佐藤錦」と同じ心臓形である。果実は「佐藤錦」、「北光」より大きい。果皮の着色は「南陽」より多く「佐藤錦」より少ない。果肉の硬さはやや軟らかく、果汁が多い。甘みはやや少なく、酸味は中程度である。

5. 裂果の程度は「佐藤錦」並みである。年次によって「南陽」と同様の黄変落葉が見られるが、生育への大きな影響は見られない。
6. 「佐藤錦」, 「北光」, 「南陽」と交配親和性を有する。灰星病抵抗性, 虫害抵抗性はともに中程度であり, 一般防除下で特に問題は認められなかった。

は6月下旬であり, 「佐藤錦」より3日ほど早い。また, 「佐藤錦」に比べ大玉であることから収穫調整作業に有利である。耐寒性が「北光」並に強いことから, 耐寒性が制限要因となっている地域への新たな導入も期待できる。現在の本道栽培品種すべてと交配親和性があることから, 園地全体の結実の良化が図ることができる。

なお, 「佐藤錦」並みに裂果することから裂果防止のための雨よけ被覆を実施する

栽培適地と奨励態度

全道のおうとう栽培地域に適する。本品種の収穫盛期

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算 収量 (kg)	果実品質			試験年次
					果実重 (g)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	
中央農試	ジューンブライト	5.14	6.29	8.3	6.3	13.9	0.52	2000~2008
	佐藤錦	5.17	6.29	8.6	5.8	14.2	0.46	
	北光	5.15	7.05	8.9	6.0	17.0	0.70	
	南陽	5.19	7.12	5.0	8.6	13.2	0.47	

- 注 1) 満開期, 収穫期は2002~2004年の平均
 2) 積算収量は1樹あたり収量で, 樹齢7~9年生の積算値
 3) 果実品質は2002~2004年の平均値

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (2005)
 2) 井上哲也 等, 北海道立農試集報, 92, 41-49 (2008)。